

新しい学びを支える効果的なICT活用の方法や技術を学び、 学校教育の未来を考える。

プログラミング教育や情報モラル教育を含む子どもたちの情報活用能力の育成や、ICTを活用した効果的・効率的な教科指導等ができる力を持ち、学校の情報化の推進を先導できる小・中学校の教員の養成を目指します。情報や情報技術、教え方や学び方、教科内容に関する知識・技能を結び付けることができる力を育てます。

4年間の学び

ICT活用支援専修では、4年間を通して主に、ICTを活用した授業の実践、情報活用能力や情報モラルを育成するための授業の実践、学校全体の情報化への対応、情報科学の基礎から応用、共通教科情報および専門教科情報を指導するための教科指導法、教育におけるICTの活用を学びます。まず、基礎的な技術を学び、学年進行に合わせて活用的・応用的科目が増えていきます。3年次からは卒業に向けて自分が属する研究室で研究が始まります。そして4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業論文をまとめます。

特色ある授業・ゼミ紹介

ICT活用支援専修では、プログラミングの授業やタブレット端末を活用した模擬授業などICT機器を活用した授業が多くあります。一方でアンプラグドプログラミングなど、敢えてコンピュータを使わずに手品のような方法を用いるなど少し捻りを利かせた指導法を扱う授業もあります。



2022年 2年次前期の時間割 (例) 中学校教諭免許教科「数学」を選択した場合

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等生活科教育内容A	集合と論理	初等算数科教育法B	初等音楽科教育内容A	
2時限	初等社会科教育内容A		初等図画工作科教育法A	教育システム論	フランス語II
3時限	コンピュータとプログラミング		この時間を使って「学校体験活動I」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	学校情報研究A	情報デザイン
4時限	英語コミュニケーションII	データサイエンス基礎		初等整数論	
5時限					

実習: 学校体験活動入門

集中: 発達障害のある児童生徒理解基礎

集中: 外国人児童生徒支援教育

主な授業科目

- 情報基礎
- プログラミング
- コンピュータとプログラミング
- 情報デザイン
- 情報通信ネットワーク
- 情報通信ネットワークとデータの利用
- 情報と社会
- 情報システム
- データサイエンス基礎
- データサイエンス
- 情報セキュリティ
- ユーザインタフェースデザイン
- 情報コンテンツ
- 初等情報研究
- 情報科教育
- 学校教育研究

取得できる免許

[卒業要件に含める免許状]

小学校教諭一種免許状

[取得を優先して薦める免許状]

中学校教諭二種免許状^(※)
◎特別支援学校教諭二種免許状

[所定の科目履修で可能とする免許状]

中学校教諭一種免許状(中学校二種の教科)
◎高等学校教諭一種免許状(情報)
◎幼稚園教諭二種免許状

※ 入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice



中等教育教員養成課程
情報専攻4年
学校法人滝学園
滝高等学校出身

*学生の所属は改組前の名称です

ICTを活用して、学校教育にイノベーションを!

ICTの使い方や情報系の知識を深めるのはもちろん、その教え方をも学びます。教師となった時にどのようにICTを活用していくのかを考えながら実践を観察し、授業支援システムに触れることができます。特に情報コンテンツの授業では動画やWebを制作し、編集の方法やWebページの仕組みを学び、実践しながら探究できたことが楽しかったです。これからはICTを活用した共有や個別学習など、既存の授業では不可能だったことができるようになるので、学校教育にイノベーションを起こせるような教師を目指します。